

# 平成 27 年度社会福祉法人柏崎市社会福祉協議会事業報告

## ○ はじめに

少子高齢化が急速に進み、様々な問題を抱えている日本の社会経済環境は、国の経済対策で景気が上昇傾向にあると言われてきていたが、その効果を実感するには至っていない。

当市においては、高齢化率が全国や新潟県の平均を上回る一方、若者の流出が多く、また在宅・地域介護の担い手不足は深刻な状況であり、事業運営自体の継続性という面で大きな不安となっている。

国においては社会福祉法の改正が議論されており、より厳密で透明性の高い運営が求められている中、社会福祉法人のあり方が問われている。

本会の使命である、誰もが自分らしく安心して暮らすことができる「ともに支え、ともに生きる福祉のまちづくり」の実現に向け、住民主体の福祉活動の推進、質の高い在宅福祉サービスの提供、日常生活自立支援事業等の積極的な展開を行い、地域福祉推進に取り組んできたところである。

平成 27 年 4 月の介護保険法改正による介護報酬単価の引き下げによる影響は、当会のみならず、介護業界に大きな打撃を及ぼし、在宅福祉サービス事業全体においては、非常に厳しい 1 年となった。

また、要支援認定者においては、介護予防給付の内、訪問介護・通所介護利用者は、平成 29 年度から介護予防・日常生活支援総合事業に移行するとされている。

なお、平成 28 年 3 月 31 日現在の職員数は、正職員Ⅰ 78 人、正職員Ⅱ 15 人、契約職員 45 人、非常勤職員 121 人、嘱託職員 6 人の計 265 人となっている。

## 第 1 法人運営部門（総務課 総務係・経理係・業務係） 「新たな地域公益事業の展開と経営基盤の強化に向けた組織体制の整備」

平成 27 年度、上記目標を掲げ、社協会費を財源とする地域移行等事業（アパート借り上げ事業）の展開を図ってきた。

平成 27 年 4 月の介護報酬改定の影響により、経営は全体的に厳しい状況となったが、限られた財源を効率的かつ有効的に配分することに努め、次年度の新規事業に向けた展開へとつなげた。

また、「組織は人なり」を基本コンセプトとして、キャリアパスの推進を図り、ストレスチェックの実施に向けた条件整備を開始したほか、障がい者雇用にも積極的に取り組んだ。

### 1 法人運営事業

（ ）内は 26 年度実績

#### (1) 法人経営の基盤強化に向けた組織体制の整備

##### ① 安心して意欲的に働ける職場環境の整備

##### ア 育児休業/介護休業等諸規程の整備、取得の奨励等 (取得職員数)

- ・ 育児休業 . . . . . 5 人：うち男性 1 人、女性 4 人  
(5 人：うち女性 5 人)
- ・ 子の看護休暇（育児休業等に関する規定第 10 条に基づく） . . . 5 人（8 人）

##### イ 心と体の健康支援

- ・ 衛生委員会の開催と安全衛生活動の推進
- ・ 衛生委員会主催の安全衛生研修会の開催
- ・ 交通事故発生情報等の周知、注意喚起

##### ウ 事故防止への取組

- ・ 第三者委員会の開催 前述のため省略
- ・ 車両事故防止への取組み
- ・ 運行前点検の徹底、柏崎警察署管内の事故発生状況や注意事項等の周知
- ・ 衛生委員会開催 . . . . . 毎月 1 回以上

工 高齢者・障がい者雇用の積極的な推進

- ・ 定年後再雇用職員数 嘱託職員 6人 非常勤職員 25人
- ・ 障がい者雇用 非常勤職員 4人  
赤坂山デイサービスセンター1人、松波デイサービスセンター1人、  
北条デイサービスセンター1人、総務課1人

② 魅力ある社協マンの育成

ア 新任職員及び研修

- ・ 平成27年4月新採用職員 . . . . . 正職員4人、契約職員2人
- ・ 新採用職員研修(4月1日) . . . . . 参加者 9人
- ・ 新入社員セミナー(4月2日～3日商工会議所主催) . . . . . 参加者 3人

イ 人事考課制度

- ・ DO-CAPシート\*1を活用した育成面接を年2回実施
- ・ 人事考課委員会の開催 平成28年1月25日

\*1 DO-CAPシート

職員人事考課において、職員の資質向上や育成を行う手段として活用している手法。通常PDCAサイクル(計画→実行→確認・評価→対策→計画. . .)が活用されるが、現在自分が行っている業務からサイクル(実行→確認・評価→対策→計画)を始めて、問題点の把握や今後の業務の遂行についてのアドバイスをを行い、自己の持つスキルの向上を図っていくための手法。

ウ 非常勤職員の常勤職員への登用(平成28年4月1日採用予定)

- ・ 内部登用試験の実施による常勤職員採用 . . . . . 契約職員 5人

エ 国家資格等の取得奨励

( )内は26年度実績

- ・ 27年度合格者数 . . . . . 介護支援専門員2人(3人)  
介護福祉士6人(14人)  
社会福祉士1人(3人)  
精神保健福祉士0人(2人)

③ 組織ガバナンスの強化

ア 月次監査の実施(顧問税理士による会計業務月次監査) . . . . . 年6回

イ ホームページや「福祉のひろば」における財務諸表等の公表、各事業所における事業計画、予算書、決算書の掲示

ウ 予算管理、預貯金の管理、現金の管理に関わる内部統制システムの構築

エ 人事管理及び組織体制の強化

- ・ 管理職による業務の進捗管理と内部統制の強化
- ・ 課長会議の開催(月1回開催)
- ・ 係長以上の役職員へのヒアリングの実施(5月、10月)

オ 苦情解決体制の強化

- ・ 第三者委員会の開催 . . . . . 6月10日 平成26年度下期  
11月19日 平成27年度上期

カ ヒヤリハット・苦情受付・対応状況について

業務中において、ヒヤリとしたことやハットしたことを記載し、職員同士で共有することで事故、怪我などを未然に防止する取り組みを行っている。また、利用者およびご家族、地域住民等からのご意見、苦情を受け、業務改善し質の高いサービスに提供に努

めてきた。

・ヒヤリハット・苦情受付件数

課 名	ヒヤリハット	苦 情	説明・対応	要望・注意	その他
総務課	7件	4件	0件	0件	0件
地域福祉課	42件	9件	1件	0件	5件
訪問事業課	182件	9件	0件	3件	0件
介護支援事業課	54件	2件	0件	1件	0件
通所介護事業課	174件	12件	0件	0件	4件
合 計	459件	36件	1件	4件	9件

④ 新たな地域公益事業の展開

ア 社協会費を充当した地域移行等事業（アパート借り上げ事業）の開始に伴う条件整備

(2) 社会福祉協議会の会務運営

① 理事会（定数 13人）の開催状況：6回（会場：柏崎市総合福祉センター）

開催日	出席人数	議 事
5月26日	13人 (内 書面議 決書提 出理事 1人)	承第1号 平成26年度事業報告の認定について 承第2号 平成26年度決算の認定について ・監査報告について 議第1号 平成27年度資金収支補正予算について 議第2号 社会福祉法人柏崎市社会福祉協議会柏崎市ボランティアセンター設置規程の一部改正について 議第3号 社会福祉法人柏崎市社会福祉協議会福祉基金の設置及び管理運用に関する規程の一部改正について 議第4号 社会福祉法人柏崎市社会福祉協議会ボランティア基金設置規程の一部改正について 議第5号 社会福祉法人柏崎市社会福祉協議会相談支援事業所おうぎまち運営規程の一部改正について 議第6号 北条デイサービスセンター認知症対応型通所介護事業運営規程の廃止について
8月6日	13人 (内 書面議 決書提 出理事 2人)	議第7号 生活福祉基金の取り崩しについて 議第8号 平成27年度資金収支補正予算（第2号）について 議第9号 赤坂山デイサービスセンター運営規程の一部改正について 議第10号 赤坂山デイサービスセンター認知症対応型通所介護事業運営規程の一部改正について 議第11号 松波デイサービスセンター運営規程の一部改正について 議第12号 松波デイサービスセンター認知症対応型通所介護事業運営規程の一部改正について 議第13号 北条デイサービスセンター運営規程の一部改正について 議第14号 訪問介護事業所運営規程の一部改正について 議第15号 訪問入浴介護事業所運営規程の一部改正について 議第16号 ゆたか訪問看護ステーション運営規程の一部改正について

		議第 17 号 柏崎市西地域包括支援センターまちなか（介護予防支援） 運営規程の一部改正について 議第 18 号 柏崎市西地域包括支援センターくじらなみ（介護予防支援） 運営規程の一部改正について 議第 19 号 西山ケアプランセンターの廃止について 選第 1 号 評議員の選任について 選第 2 号 第三者委員の選考について
9 月 1 日	13 人	選第 3 号 会長の互選について 選第 4 号 副会長の互選について 選第 5 号 常務理事の指名について 選第 6 号 会長の職務代理者の指名について 議題 20 号 平成 27 年度資金収支補正予算（第 3 号）について 報第 1 号 部会委員について
10 月 28 日	13 人	議第 21 号 新規短時間デイサービス事業の開始について 議第 22 号 平成 27 年度資金収支補正予算（第 4 号）について
12 月 17 日	13 人	議第 23 号 特定個人情報取扱規程の制定について 議第 24 号 個人情報保護規程の一部改正について 議第 25 号 就業規則の一部改正について 議第 26 号 児童クラブ運営規程の制定について 議第 27 号 平成 27 年度資金収支補正予算（第 5 号）について 議第 28 号 北条デイサービスセンター短時間デイサービス事業の開 について
3 月 17 日	13 人	議第 29 号 平成 27 年度資金収支補正予算（第 6 号）について 議第 30 号 平成 28 年度事業計画（案）について 議第 31 号 平成 28 年度資金収支予算（案）について 議第 32 号 定款の一部変更について 議第 33 号 事務局規程の一部改正について 議第 34 号 就業規則の一部改正について 議第 35 号 表彰規程の一部改正について 議第 36 号 赤坂山デイサービスセンター運営規程の一部改正について 議第 37 号 北条デイサービスセンター運営規程の一部改正について 議第 38 号 シニアエクササイズさんわ介護予防通所介護事業運営規程 制定について 議第 39 号 シニアエクササイズさんわ地域密着型通所介護事業運営規 程制定について 議第 40 号 公印規程の一部改正について 議第 41 号 西山ケアプランセンター運営規程の廃止について 選第 7 号 評議員の選任について

② 評議員会（定数 27 人）の開催状況：6 回（会場：柏崎市総合福祉センター）

開催日	出席人数	議 事
5 月 26 日	26 人	承第 1 号 平成 26 年度事業報告の認定について 承第 2 号 平成 26 年度決算の認定について 議第 1 号 平成 26 年度資金収支補正予算（第 1 号）について
8 月 6 日	25 人	議題 2 号 生活支援復興基金の取り崩しについて

		議題 3号 平成 27 年度資金収支補正予算（第 2 号）について 議第 4 号 西山ケアプランセンターの廃止について 選第 1 号 理事の選任について 選第 2 号 監事の選任について 報第 1 号 第三者委員について
9 月 1 日	24 人	議第 5 号 平成 27 年度資金収支補正予算（第 3 号）について
11 月 12 日	22 人	議第 6 号 新規短時間デイサービス事業の開始について 議第 7 号 平成 27 年度資金収支補正予算(第 4 号) について
12 月 17 日	26 人	議第 8 号 平成 27 年度資金収支補正予算（第 5 号）について 議第 9 号 北条デイサービスセンター短時間デイサービス事業の開始について
3 月 17 日	23 人	議第 10 号 平成 27 年度資金収支補正予算（第 6 号）について 議第 11 号 平成 28 年度事業計画（案）について 議第 12 号 平成 28 年度資金収支予算（案）について 議第 13 号 定款の一部変更について 選第 3 号 理事の選任について

### ③ 部会の開催状況

開催日	部会名	議 題
9 月 1 日	総務部会 地域福祉部会 在宅福祉サービス部会	(1) 部会長の互選について (2) 副部会長の互選について
2 月 18 日	総務部会 地域福祉部会 在宅福祉サービス部会	(1) 平成 27 年度事業実施状況及び決算見込について (2) 平成 28 年度事業計画（案）について ・新規事業/重点取り組み事業等 (3) 平成 28 年度資金収支予算（案）について
3 月 3 日	正副会長・三部会長会議	(1) 三部会の報告 ・総務部会 ・地域福祉部会 ・在宅福祉サービス部会 (2) 事業計画の一部変更について (3) 定款、諸規程の一部改正について (4) 補正予算について

### ④ 監査の開催状況

- ア 法人監査会 ・ 上期監査 平成 27 年 5 月 12 日 26 年度決算監査  
・ 下期監査 平成 27 年 11 月 10 日 27 年度上半期現金出納監査  
イ 行政法人監査 ・ ・ ・ ・ ・ 平成 28 年 3 月 9 日

### ⑤ 役職員の研修活動

- ア 新潟県社会福祉協議会主催関係会議への参加  
イ 先進地社協視察研修（福島県本宮市社協）及び新潟県民福祉大会への参加  
(27 年 10 月 27 日～28 日)  
ウ 社会福祉事業推進を目的に民生・児童委員、福祉団体及び関係機関との連絡調整

(3) 会費制度の納入状況

11年目を迎えた社会福祉協議会会員会費制度については、特別会員加入の特典として本会のホームページや広報紙への広告掲載を行い、新たな企業、団体からも加入の申し込みがあった。

① 一般会費

地区及び1世帯あたり会費	全世帯数	会員数(世帯)	会費額(円)	加入率(%)
柏崎地区(500円)	30,117	20,597	10,296,987	68.4
高柳地区(500円)	783	616	316,600	78.7
西山地区(500円)	1,978	1,773	886,460	89.6
合計	32,878	22,986	11,500,047	69.9
26年度実績	32,842	23,180	11,633,170	70.6

② 賛助会費及び特別会費

種別	人数・件数	口数	会費額(円)
賛助会費(1口500円)	407	736	368,000
特別会費(1口5,000円)	85	215	1,075,000
合計	492	951	1,443,000
26年度実績	499	958	1,446,600

(4) 社会福祉協議会会長表彰の実施

- ① 柏崎市社会福祉協議会会長表彰(8月25日) . . . . . 団体 4、個人 15人

(5) 介護職員初任者研修事業(学生・一般対象)

研修期間(7月27日~8月26日)

受講者数 4人 修了者数 4人

(26年度実績なし)

(6) 柏崎市共同募金委員会への協力

(7) 日本赤十字社柏崎市地区への協力

(8) 在宅介護者リフレッシュ事業

柏崎市から受託し、在宅で家族等を介護している介護者を対象に介護者同士の交流と語らいの場を設け、日頃の疲れを解消できるよう福祉センターや市内の保養施設等を会場に日帰りコースを開催した。

第1回 福祉機器、介護ロボット展示会 わいがやフェスティバルでのPR(6月27日) 参加者22人

第2回 施設見学(塩沢・牧之茶屋認知症カフェ)及びランチを囲みながらの交流会(7月23日) 参加者18人

第3回 介護事業所サービスについての研修会及び懇談会(10月15日) 参加者13人

第4回 若年性認知症に関する講演会及び懇談会(12月15日) 参加者21人

第5回 笑足ねっとしらさん家による体操&運動及び昼食を囲みながらの交流会(3月16日) 参加者17人

27年度実績 計5回 参加者 計 91人  
(26年度実績 計4回 参加者 計 58人)

## 第2 地域福祉推進部門（地域福祉課 地域福祉係・生活支援係） 「ともに支え合い、誰もが安心して自分らしく過ごせる地域づくりの推進」

地域コミュニティの変容を背景に、病気や困窮など複合的なニーズを抱える要援護者等の社会的孤立、公的な制度やサービスだけでは拾いきれない多様な生活課題が顕在化する中、当会ではコミュニティセンター、町内会、民生・児童委員協議会、福祉施設やボランティア・市民活動団体等とのネットワークを構築し、地域福祉の基盤づくりに努めてきた。

平成27年度においては、地域住民による支え合い体制の更なる充実を目的に、地域食事サービスやふれあいサロン、年末のおせち料理配達事業等訪問による見守り活動や誰もが気軽に集い、通える場づくり等を支援することにより、地域社会とのつながりが途切れがちとなった住民の「つながり」の再構築を支援し、孤立や孤独、不安の解消に努めた。

また、第二次地域福祉活動計画の4年目を迎え、その検証と評価を行うため、市内福祉・ボランティア団体、コミュニティセンターなどのヒアリングを実施し、第三次計画策定への取組準備を開始した。

平成27年9月に発生した関東・東北豪雨水害においては、市民ボランティアを募り、職員を含め12名で9月24日から26日にかけて、災害支援ボランティアパックを企画し、栃木市への支援を行った。

生活支援係においては、経済的に困窮している人や家庭が生活保護に陥らないためのきめ細かな支援を行う生活困窮者自立支援事業を市から受託し、困窮の要因が複雑に絡みあっている相談者へのワンストップサービスに取り組んだ。

また、市民後見人の活動スタートを目指し、養成講座を開催した結果、23名の参加があり、次年度に向けた支援員の体制づくりに向け進展が図られた。

### 1 地域福祉推進事業 ( )内は26年度実績

#### (1) 地域福祉活動の推進

##### ① 活動計画に沿った事業の展開と進捗管理

活動計画に掲げた基本目標に基づき、職員が出向き、各地区で展開されるサロンや地区福祉組織による住民福祉活動その他の助け合い活動に関する実態把握に努めた。

##### ② 地区福祉組織活動の支援

コミュニティセンター単位に設置されている地区福祉組織について、柏崎地区23か所、西山地区6か所、高柳地区の1か所の活動を支援した。

福祉センターお茶の間サロンの活動支援（毎週水曜日）・・・・・・参加者325人  
(242人)

##### ③ 要援護者支援システムの運用 要援護者の情報管理等

##### ④ 買い物支援「買い物安心ネットワークサービス」の活用・・登録者2人、利用回数延23回 (3人、4回)

##### ⑤ 第三次地域福祉活動計画策定に向けての取り組み

市内福祉・ボランティア団体及び、コミュニティセンターへのモニタリングの実施

#### (2) ふれあい総合相談所の運営

市民が抱える様々な困りごとに対して専門相談機関と連携を図りながら広く相談に応じ、問題解決を図った。

##### ① 一般相談・・・・・・・・・相談員7人

相談名	相談日	相談件数	26年度相談件数
心配ごと相談	毎週 月・火・木・金曜日	211件	255件

高柳地区1回、西山地区1回の巡回相談を実施

② 専門相談 . . . . . 相談員：弁護士・司法書士・税理士・行政書士・社会福祉士

相談名	相談日	相談件数	26年度相談件数
法律相談	毎月第1・第3火曜日	57件	83件
司法書士相談	毎月第4木曜日	22件	23件
税金相談	偶数月第2火曜日	3件	4件
行政書士相談	奇数月第3木曜日	10件	2件
介護相談	毎月第3水曜日	0件	1件
合計		92件	113件

(3) 福祉教育推進事業 ( )内は26年度実績

- ① 福祉教育プログラムの企画と学校・地域住民へ提案、開催支援等  
 小学校6校、中学校4校、地域住民対象1地区、その他1か所  
 (小学校7校、中学校3校、高等学校2校)
- ② 福祉教育サポートボランティア説明会(6月5日) . . . . . 参加者16人  
 (19人)
- ③ ボランティア推進校助成事業の実施(助成総額335,000円) . . . . . 9校  
 (9校 鯨波小、鯖石小、二田小、内郷小、第三中、東中、瑞穂中、西山中、柏崎工業高)
- ④ 世代間交流事業の推進  
 スポーツ吹矢、ペタンクの用具貸出等 . . . . . 3回  
 (3回)

(4) 広報・啓発活動 ( )内は26年度実績

- ① わいわいがやがやフェスティバル開催(6月27日) . . . 協力16団体、来場者754人  
 (12団体、1,144人)
- ② 西山フェスティバル開催(10月4日)西山町いきいき館 . . . . . 来場者522人  
 (407人)
- ③ おもちゃフェスティバルの開催(3月5日) . . . . . 来場者 551人  
 (658人)
- ④ 広報紙「福祉のひろば」の発行 . . . . . 年6回  
 (6回)
- ⑤ コミュニティセンターまつりへの参加 . . . . . 16地区  
 (16地区)
- ⑥ 社会福祉協議会ホームページを活用した情報発信  
 広報かしわざきや各新聞社、コミュニティ放送等を利用した事業の広報

(5) 関係団体への協力

- ① 柏崎市老人クラブ連合会
- ② 柏崎市手をつなぐ育成会
- ③ 柏崎市母子寡婦福祉やまゆり会
- ④ 柏崎市ボランティア連絡協議会
- ⑤ その他福祉関係団体



## 2 ボランティアセンター運営事業

- (1) ボランティアセンター ( )内は26年度実績
- ① ボランティアに関する相談の受付 . . . . . 1,294件(1,779件)
  - ② ボランティア登録システムの充実 . . . . . 団体73団体:1,999人、個人150人  
(76団体:2,107人、個人192人)
  - ③ ボランティア大交流会(2月28日) . . . . . 参加者66人  
(60人)
- (2) ボランティア育成事業 ( )内は26年度実績
- ① ボランティア育成講座の開催(入門編 5月14日) . . . . . 参加者11人  
(15人)
  - ② ボランティア体験事業
    - ア サマーチャレンジボランティアの開催(7月末~8月) . . . . . 参加者100人  
(79人)
    - イ 24時間テレビチャリティ募金(8月23日) . . . . . 参加者28人  
(35人)
  - ③ ボランティア交流会<Mini ミニ講座>
    - ・ 総合福祉センター . . . . . 参加者130人  
(203人)
    - ・ 紙風船作りde交流会inなごみ荘 . . . . . 参加者12人
  - ④ ボランティアコーディネーター研修(7月7日) . . . . . 参加者27人  
(47人)
- (3) 障がい児・者福祉活動事業 ( )内は26年度実績
- ① 障がい理解講座の開催
    - ア 知的障がい編(6月4日) . . . . . 参加者11人  
(15人)
    - イ 精神障がい編(10月30日) . . . . . 参加者18人  
(15人)
- (4) ボランティアセンター運営委員会 ( )内は26年度実績
- ① 運営委員会の開催 . . . . . 年4回  
(年4回)
  - ② 視察研修の実施(12月4日)視察先:金沢工業大学 産学連携推進室
- (5) 災害ボランティアセンター ( )内は26年度実績
- ① 柏崎市総合防災訓練(災害ボランティアセンター設置訓練 10月18日) . . . . . 参加者21人  
(9人)
  - ② 災害ボランティアパックの実施
    - 関東・東北豪雨水害(9月24日から26日、栃木市) . . . . . 12人
- (6) 広報・啓発事業 ( )内は26年度実績
- ① ボランティアセンター情報紙「Fun ファン Fan」の発行 . . . . . 6回  
(年6回)
  - ② コミュニティ放送や新聞社との連携

3 共同募金配分金事業

( ) 内は 26 年度実績

(1) 一般募金配分金事業

① ふれあいサロン（地域の茶の間）活動の推進

ア 誰もが気軽に集まることができるふれあいサロンづくりの支援 …… 107 か所  
(92 か所)

イ ふれあいサロンへの活動助成

ウ ふれあいサロンボランティア研修会の開催（12月11日） …… 参加者 61 人  
(55 人)

② 地域食事サービス事業

ア 17 地区で実施されたボランティアによる配食サービス及び会食サービスの支援

イ 地域食事サービスボランティア研修会の開催（9月4日） …… 参加者 23 人  
(24 人)

③ 赤い羽根パートナーミーティングの開催（8月25日）

講演：金澤 泰子氏 …… 来場者約 400 人  
(260 人)

④ 新一年生お祝い事業（入学式お祝い鉛筆贈呈） …… 634 人  
(693 人)

(2) 歳末たすけあい募金配分金事業

( ) 内は 26 年度実績

① おせち料理配達事業

見守り、声かけ活動を兼ねて、町内会長や民生委員等の協力を得ながら、年末に高齢者世帯等におせち料理 2,387 食を配達した。  
(1,424 食)

② 除雪ボランティアセンター設置 …… 12月1日～3月1日

ア 除雪ボランティア登録者 …… 70 人（内訳：市内 42 人、市外 4 人、県外 24 人）  
(84 人内訳：市内 55 人、市外 12 人、県外 17 人)

イ 除雪ボランティア活動状況 ( ) 内は 26 年度の数

除雪ボラ問合せ	活動件数	ボラ活動延べ人数	職員延べ人数
140 件 (353 件)	5 件 (51 件)	18 人 (219 人)	8 人 (82 人)

ウ 除雪ボランティア派遣状況

中鯖石	南鯖石	別 俣	野 田	鵜 川	北 条	高 柳	計
1 件 (0 件)	0 件 (11 件)	0 件 (6 件)	2 件 (4 件)	0 件 (6 件)	2 件 (2 件)	0 件 (22 件)	5 件 (51 件)

③ 除雪ボランティアの登録及び活動調整

( ) 内は 26 年度実績

コーディネーター委嘱式・説明会（10月16日） …… 委嘱 4 人  
(4 人)

④ 冬囲い（落とし板）の取付け支援（11月11日、25日、12月1日） …… 7 件  
(3 件)

4 ふれあい給食サービスの実施

(1) 毎日型給食サービスの実施

( ) 内は 26 年度実績

配 達 日	月曜日～日曜日（祝日及び年末年始を除く）
目 的	食の確保と安否確認
対 象 者	市内に居住する 65 歳以上の単身又は高齢者世帯等で、身体上又は精神上の障がいのために自力での調理が困難若しくは他に調理できる家族等がない者
配 達 数	延べ 46,749 食（47,849 食）
弁当の内容	Aコース：550 円／食 おかず・ご飯・味噌汁 Bコース：450 円／食 おかずのみ

5 指定管理事業

(1) 柏崎市総合福祉センター

( ) 内は 26 年度の実績

障がい者、高齢者、ひとり親家庭等、地域福祉推進を活動の目的とする団体等に対し、福祉センターの利用を促進し、活動の場の提供に努めた。

また、貸館有料化に伴い、運営体制を整備し、利用者の利便性向上に努めた。

① 総合福祉センター年間利用状況

会議研修室	調理実習室	研修室和室	会議室(1)
4,900 人 (5,414 人)	852 人 (1,693 人)	6,193 人 (7,338 人)	4,625 人 (5,294 人)
会議室(2)	作業研修室	プレイルーム	ボランティア図書・集室
4,100 人 (5,233 人)	8,561 人 (9,188 人)	7,487 人 (6,140 人)	2,894 人 (3,280 人)
相談室	その他	合 計	
250 人 (379 人)	1,996 人 (1,742 人)	41,858 人 (45,701 人)	

(2) 高齢者生活支援施設結の里

① 入居部門（定員 25 人） . . . . . 平成 28 年 3 月 31 日現在入居者 24 人  
季節行事の実施

- ・えんま市ドライブ（6 月 15 日）
- ・夏の昼食会（7 月 27 日）
- ・敬老会（9 月 11 日）
- ・紅葉ドライブ（11 月 6 日 7 日）
- ・クリスマス（12 月 21 日）
- ・新年会（1 月 4 日）
- ・豆まき（2 月 1 日）
- ・おひなまつり（3 月 3 日）

② 施設管理

( ) 内は 26 年度実績

- ア 交流室利用回数 . . . . . 256 回、延人数 2,204 人（237 回、1,819 人）
- イ 調理室利用回数 . . . . . 253 回、延人数 2,030 人（239 回、1,793 人）
- ウ サロン利用人数 . . . . . 2 階集会室延べ 1,559 人、3 階集会室延べ 2,461 人  
( 2 階 1,879 人、3 階 2,411 人)

(3) 高齢者冬期共同住宅ひだまり指定管理事業

( ) 内は 26 年度実績

施設利用者（11 月から 4 月まで） . . . . . 5 人（4 人）

(4) 柏崎市西山町いきいき館

① 柏崎市西山町いきいき館年間利用状況

( ) 内は 26 年度の実績

いきいきホール	食の広場	わくわく広場	かたくり (集会室)
6,598 人 (5,721 人)	524 人 (504 人)	2,014 人 (2,331 人)	527 人 (484 人)
ゆきわり (集会室)	つばき (集会室)	第 1 研修室	第 2 研修室
443 人 (401 人)	119 人 (114 人)	2,494 人 (2,244 人)	785 人 (809 人)
ボランティア室	福祉工房	相談室	健康づくり広場
46 人 (40 人)	189 人 (251 人)	41 人 (91 人)	91 人 (137 人)
その他	合計		
588 人 (11 人)	14,459 人 (13,138 人)		

② 子育てサロンの開催と子育てサークル活動の支援 (西山地区：西山町いきいき館)

ふれあい子育てサロンの活動支援 毎週月曜日と毎月第 2 金曜日 …… 参加者 810 人  
(593 人)

③ 西山コムサロン (西山町いきいき館 毎週木曜日) …… 参加者 697 人  
(569 人)

6 柏崎市児童クラブ運営受託事業

(1) 児童クラブ運営受託事業：年間延べ利用者数

① 比角第二児童クラブ ※計の欄の ( ) 内は平成 28 年 3 月 31 日現在の登録者数  
※下段の数字は、26 年度の実績

1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	計
2,790 人 (2,925 人)	2,871 人 (1,427 人)	1,381 人 (1,564 人)	550 人 (779 人)	7,592 人 (40 人) 6,695 人 (34 人)

② 北条児童クラブ (北条小学校)

1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	計
1,361 人 (2,001 人)	1,953 人 (1,007 人)	1,362 人 (457 人)	590 人 (19 人)	5,266 人 (26 人) 3,484 人 (20 人)

③ 中通児童クラブ (中通小学校)

1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	計
894 人 (212 人)	222 人 (1,000 人)	480 人 (90 人)	0 人 (429 人)	1,596 人 (7 人) 1,731 人 (7 人)

④ 米山児童クラブ (米山小学校)

1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	計
220 人 (740 人)	691 人 (173 人)	215 人 (560 人)	606 人 (0 人)	1,732 人 (8 人) 1,473 人 (7 人)

- 7 生活困窮者自立支援事業 ( ) 内は 26 年度実績
- (1) 生活困窮者自立支援事業の受託
- ①相談者実数 . . . . . 261 人 (197 人)
  - ②相談対応延回数 . . . . . 2,748 回  
(1,242 回)
  - ③ケア会議 . . . . . 37 回
  - ④フリースペース「ぶらっと」 . . . . . 14 回
- (2) 生活福祉資金貸付事業
- ①緊急小口資金貸付 . . . . . 10 件 710,000 円  
(12 件 948,000 円)
  - ②福祉資金 . . . . . 1 件 89,000 円  
(2 件 652,000 円)
- (3) 自殺予防のための相談支援体制の構築と関係機関との連携
- ① ころとくらしの総合相談会 (ワンストップ相談会) に参加 (6 日間)
- 8 日常生活自立支援事業 ( ) 内は 26 年度実績
- (1) 日常生活自立支援事業の実施 . . . . . 平成 28 年 3 月 31 日現在利用者数 163 人  
(平成 27 年 3 月 31 日現在利用者数 169 人)
- ① 新規契約 . . . . . 31 人  
(37 人)
  - ② 契約終了 . . . . . 34 人  
(17 人)
  - ③ 契約に至らない相談 . . . . . 37 件  
(18 件)
  - ④ ケア会議の参加 . . . . . 150 回  
(163 回)
- 9 成年後見制度相談支援等事業の受託 ( ) 内は 26 年度実績
- (1) 成年後見制度の周知
- ① 成年後見制度に関する研修会 (3 月 15 日) . . . . . 参加者 72 人  
(51 人)
  - ② 金融機関との情報交換会 (11 月 26 日) . . . . . 参加者 7 人  
(15 人)
- (2) 成年後見制度活用手続き支援 ( ) 内は 26 年度実績
- ① 成年後見制度に関する相談 . . . . . 31 件  
(44 件)
  - ② 成年後見制度申立支援 . . . . . 20 件  
(7 件)
- (3) 法人後見制度の実施(受任) . . . . . 10 件  
(7 件)

(4) 市民後見制度についての検討

- ① 成年後見制度ワーキングの開催 . . . . . 4回
- ② 市民後見人養成講座の開催 . . . . . 参加者23人

(5) 権利擁護支援に関する研究と今後取り組む事業の検討

- ① 全国権利擁護支援ネットワークメーリングリストへの参加（虐待ケース介入への協力）
- ② 高齢者虐待防止ネットワーク連絡会への参加 . . . . . 12月10日

10 地域移行等支援事業

(1) アパート生活体験機会の提供

アパート2部屋賃貸（7月1日～） . . . . . 利用者9人  
15回延べ211日間

### 第3 在宅福祉サービス事業部門（訪問事業課・介護支援事業課・通所介護事業課） 「自分が受けてたい、家族に受けてもらいたい、キラリと光る介護サービス」

在宅福祉サービス事業部門においては、特別養護老人ホーム、小規模多機能型施設、有料老人ホーム等、新規入所型福祉施設の開所が相次ぎ、デイサービスセンターの利用者減少など影響を受けた。また、介護報酬改定による単価の減額もあり、介護保険事業全体の収支に影響が生じた。

訪問介護事業では、新規の利用者確保があるものの、生活支援サービス等が多く、稼働率はほぼ変わらないが収支に厳しい状況が生じた。障がい者施策においては、相談支援係を新設し、地域定着、地域移行支援、障害者等相談支援事業により、同行援護や移動支援の活動が広がった。

通所介護事業では、赤坂山デイサービスセンターにおいて、リハビリに特化した短時間デイを開設し、多様なサービス形態と質の高い機能訓練サービスの提供に努めた。

介護支援事業では、居宅介護支援において、利用者・介護者に寄り添った計画づくりに努め、一人当たりの担当件数を精査することで、安定した収入を確保することができた。

また、更なるサービスの充実と、職員の資質向上を図るため、三課合同研修会、係内研修会等を実施した。併せて利用者の地域生活支援を強化するため、種々検討会を持ち対応した。

#### ○ 訪問事業課（訪問介護係・訪問入浴係・障害福祉サービス係・相談支援係・訪問看護係）

訪問事業課では、特別養護老人ホーム等新規入所型施設の開所が相次いだことから、大幅な減収も予想されたが、積極的に利用者受入に努め、職員体制もチームを横断した対応や、係間及び課内での応援を行うなど、効果的なサービス提供体制を確保した。

#### 1 訪問介護事業（ホームヘルパー） ( )内は26年度の実績

訪問介護では、新規利用者等を積極的に受け入れたが、それを上回る、入院、入所、死亡、利用中止があったために利用者数が減少した。複数回利用者の入所が多く、新規利用者が上がっても、入所までのつなぎ利用、終末期等で数回の利用で入院となった傾向が多かった。その対策として中山間地域等の利用者や年末・年始期間の積極的なサービス調整と受け入れ、早朝夜間帯のサービス提供など利用者ニーズに応じた柔軟なサービスの提供に努めたが、収支に厳しい状況が生じた。

##### (1)訪問介護

月平均介護給付		月平均予防給付	
派遣世帯数	派遣延件数	派遣世帯数	派遣延件数
175件 (196件)	2,622件 (2,972件)	82件 (83件)	474件 (481件)

##### (2)訪問介護実習同行訪問

受入延日数	18日 (23日)
受入人数	7人 (9人)

##### (3)訪問介護（法定外サービス）

月平均派遣世帯数	14件 (22件)
月平均派遣延件数	21件 (35件)

#### 2 訪問入浴介護事業 ( )内は26年度の実績

訪問入浴では、要介護4、5の利用者が多く、月複数回の利用希望もあり、4月～7月にかけて利用者増加が続いたが、秋から冬にかけて、複数回利用者の入院、体調不良による中止、死亡、施設利用等もあり、利用者の減少が続きほぼ例年並みの実績となった。

月平均派遣世帯数	44件 (46.7件)
月平均派遣延件数	198件 (202件)

3 障害者居宅介護等事業 ( )内は 26 年度の実績

居宅介護では、週複数回利用者の入院、入所、介護保険への移行等報酬改定の影響もあり、利用者確保、職員稼働率は、ほぼ変わらぬものの、収支に厳しい状況が生じた。同行援護では、実利用者数は変わらないが、通院付き添い、長時間の同行支援が減少し、予算対比には若干届かなかった。移動支援については、グループ支援の減、グループホーム利用者が自宅に戻る等、件数減も生じたが、積極的に小学校の身体介護有の下校支援等を受け入れた結果、予算収入を達成した。

(1) 居宅介護事業

月平均派遣世帯数	72.5 件 (75.3 件)
月平均派遣延件数	712.3 件 (893.3 件)

(2) 同行援護

月平均派遣世帯数	10 件 (10 件)
月平均派遣延件数	58.9 件 (65 件)

(3) 重度訪問介護 . . . . . 利用実績なし

(4) 地域生活支援事業（移動支援事業）

月平均派遣世帯数	22.2 件 (22.1 件)
月平均派遣延件数	104.2 件 (90.8 件)

4 相談支援事業所おうぎまち ( )内は 26 年度の実績

相談支援事業においては、相談支援係を新設し、サービス等利用者計画作成の義務付けもあり、計画相談支援の件数増加につながった。予算的には、モニタリングによる収入が毎月でないため、請求数にも波があるが、新規受け入れを続け、サービス利用へつないでいる。一般相談支援については、地域定着支援利用者の困難事例があったが、福祉課等関係機関と連携し対応した。

(1) 計画相談支援

相談支援専門員数	利用者契約数	実績件数
3 人 (2 人)	118 件 (61 件)	476 件 (376 件)

(2) 一般相談支援

相談支援専門員数	利用者契約数	実績件数
3 人 (2 人)	3 件 (2 件)	31 件 (26 件)

5 ゆたか訪問看護ステーション事業 ( )内は 26 年度の実績

訪問看護では、在宅でのリハビリに対するニーズが高まり、理学療法士、作業療法士による、利用者の心身機能の維持及び生活の質の向上を図った。冬場にかけての利用者落ち込みに対して、新規利用者も積極的に受け入れ、連日訪問が多くなった結果、目立った落ち込みは見られなかった。

月平均介護予防利用者		月平均要介護利用者		月平均医療保険利用者	
派遣世帯数	派遣延件数	派遣世帯数	派遣延件数	派遣世帯数	派遣延件数
11.9 件 (12.7 件)	34 件 (40.5 件)	78.8 件 (83.9 件)	276.5 件 (279.8 件)	19.8 件 (17.3 件)	91.6 件 (100 件)



## ○ 介護支援事業課

### (介護支援第一・二係・柏崎市西地域包括支援センターまちなか/くじらなみ)

居宅介護支援事業所においては、西山ケアプランセンターの閉鎖や職員の予定外退職等もあったが、一人当たりの担当件数を増やすことで、安定した収入を確保することができた。また職員個々のスキル向上のために各種研修等に参加し、利用者・介護者に寄り添った計画づくりに努めてきた。しかし、ご利用者・家族の自立支援につながるものであったのか、検証まで及ばなかった。

柏崎市西地域包括支援センター運営受託事業は、4月から「まちなか」で担当していた大洲地区、剣野地区を「くじらなみ」に移行した。その結果、地区での高齢者人口がほぼ同数となり、「まちなか」に集中していた相談件数も緩和されたが、「まちなか」の相談内容において、困難事例が多くなり、より密接な支援を要する結果となった。これは、中央地区に地域包括支援センターが周知され、気軽に相談できる環境になったものであり、より地域の福祉相談窓口としての機能を担うことができた表れと思われる。

「くじらなみ」については、職員を1名増員して担当地区移行に対応した。比較的スムーズに業務の移管もできたが、新たな地域の福祉課題等への対応が必要であり、関係機関と協力しながら地域ケアの推進に取り組んだ。

また、地域包括ケアシステム構築に向けて、情報収集を積極的に行ってきた。

#### 1 居宅介護支援事業所 ( )内は 26 年度の実績

月平均介護給付利用者	540.6 人 (522.3 人)
月平均予防給付利用者	75.8 人 (83.8 人)

昨年対比でも月平均の請求件数は増加した。要因として、市内居宅介護支援事業所の閉鎖や他居宅介護支援事業所の職員の退職に伴い、事業所を当会へ変更するケースがあり、利用者数の増加につながっている。

#### 2 西山ケアプランセンター ( )内は 26 年度の実績

月平均介護給付利用者	35.5 人 (34.3 人)
月平均予防給付利用者	0 人 (0.3 人)

西山ケアプランセンターについては、平成27年9月末をもって、所期の目的を達成したため事業所を閉鎖した。担当していた利用者については、引き続き当会扇町介護保険事業センターの居宅介護支援事業所にて担当を移行し、利用者には不便、不安を与えることなく計画作成を行った。

#### 3 柏崎市西地域包括支援センター（まちなか・くじらなみ）の運営 ( )内は 26 年度の実績

##### (1) 総合相談・支援事業相談受理件数

まちなか

相談実績	実人数	延人数
年間相談者数	387人 (520人)	398人 (538人)

くじらなみ

相談実績	実人数	延人数
年間相談者数	270人 (84人)	294人 (92人)

## (2) 権利擁護事業

対応内容	まちなか実人数	くじらなみ実人数
日常生活自立支援事業活用支援	4件 (11件)	0件 (1件)
成年後見制度の活用支援	5件 (1件)	20件 (13件)
虐待(疑い含む)への対応	21件 (63件)	26件 (0件)
虐待以外のその他の困難事例対応	41件 (15件)	18件 (1件)
合 計	71件 (180件)	64件 (15件)

権利擁護事業の件数自体は減っているが、内容が複雑化しており、また様々な支援を要する相談が多くなっている。

## (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

事業内容	まちなか	くじらなみ
地域ケア会議の企画・開催	8回 (38回)	3回 (39回)
介護支援専門員への助言、指導	46回 (78回)	34回 (13回)

会議名	まちなか	くじらなみ
医療関係機関との会議への参加	7回 (16回)	0回 (0回)
ケース検討会への参加	1回 (25回)	6回 (3回)
ケアマネ連絡会の企画、参加	7回 (5回)	5回 (4回)
ケアマネ研修会の企画、参加	1回 (1回)	2回 (3回)

## (4) 介護予防ケアマネジメント事業

項目	まちなか	くじらなみ
介護予防(二次予防事業対象者*1)サービス計画作成件数	1件 (5件)	0件 (3件)

\*1 二次予防事業対象者：介護認定において自立と判定された方など

## (5) 共通的支援基盤構築事業

項目	まちなか	くじらなみ
地域活動への参加	10回 (11回)	31回 (37回)
地域包括支援センター連絡会議	14回 (11回)	11回 (11回)
地域包括三職種会議等	62回 (58回)	79回 (67回)
関係機関との会議等	17回 (28回)	32回 (14回)

## (6) 任意事業

項目	まちなか	くじらなみ
住宅改修支援事業(理由書作成)	10件 (22件)	7件 (7件)
福祉用具購入費支給申請手続支援	3件 (6件)	3件 (4件)

## (7) 指定介護予防支援事業所

項目	まちなか	くじらなみ
介護予防サービス計画自前作成	81件 (129件)	59件 (9件)
介護予防サービス計画委託作成	58件 (84件)	35件 (4件)
合 計	139件 (213件)	94件 (13件)

## ○通所介護事業課（赤坂山・松波・北条デイサービスセンター）

地域における通所介護の拠点として、地域の高齢者が求める通所サービスの提供に取り組み、若年性認知症や医療ニーズの高い利用者の受け入れ、また、リハビリに特化した短時間デイサービスの開始、および、「お達者教室」の利用曜日を拡大し、要支援者等潜在利用者の掘り起こしに努めた。

27年度は、どのデイサービスも大規模修繕はなかったが、経年劣化による給湯設備の修理、火災通報装置の入れ替え、職員玄関風除け扉設置工事等を行った。

### 1 通所介護事業

- (1) 赤坂山デイサービスセンターの年間利用状況〔定員49人 一般型44人 認知症型5人〕  
短時間デイサービス「わかがえる」年間利用状況〔定員（午前5人・午後5人）〕

デイサービスでは自宅でも継続して運動ができるよう、利用者の身体状態に即した運動メニューを専門職の理学療法士が作成し、さらに利用者自身の運動意欲の引き出しに力を入れたことで、27年度は、総延利用者の増につながった。

また、新規事業のリハビリ特化型短時間デイサービス「わかがえる」は、6月頃から徐々に利用者が増え、当初の見込みには達しなかったが、利用者の生活に密着した運動メニューの提供とサービス提供時間が短時間であることが、利用しやすさにつながり、特に男性利用者の掘り起こしにつながった。しかし、その反面、2階であることから利用につながらなかったケースもあり、28年度新規事業「シニアエクササイズさんわ」開設に向けて展開となった。

\*（ ）内は、短時間デイサービス利用者数

年度	営業日数	総延利用者数	一般型		認知症型 (要介護1～ 要介護5)	キャンセル数	平均利用者 (人/日)
			一般型 (要介護1～ 要介護5)	介護予防型 (要支援1～ 要支援2)			
			延利用者	延利用者	延利用者		
26年度	309日	10,925人	7,559人	2,628人	738人	157回	35.4人
27年度	311日	11,377人 (672人)	7,887人 (215人)	2,986人 (457人)	504人	169回	36.5人
昨年比	2日増	452人増	328人増	358人増	234人減	12回増	1.1人増

- (2) 松波デイサービスセンターの年間利用状況〔定員37人 一般型30人 認知症型7人〕

一般型利用者の総延利用者数が26年度より752人減と大きく減少した。要因は、新規利用者数が26年度に比べ、半減したことに加え、入院、入所、死亡等で利用終了者数が大きく上回ったことが挙げられる。松波デイサービスを取り巻く近隣の施設でも同様の傾向があったことから、地域に高齢者施設が充足したことや、介護サービスを必要とする高齢者年齢が引きあがったこと等も考えられる。

また、認知症対応型通所介護は、定員数を5人から7人に増員し、柏崎市担当課と連携を図りながら若年性認知症利用者6人（男性2人、女性4人）を受け入れた。個々の特徴に添った支援を行った結果、26年度対比で17人の増となり、若干ではあるが、一般型実績減の補填につながった。

年度	営業日数	総延利用者数	一般型		認知症型 (要介護1～要介護5)	キャンセル数	平均利用者 (人/日)
			一般型 (要介護1～要介護5)	介護予防型 (要支援1～要支援2)			
			延利用者	延利用者	延利用者		
26年度	309日	8,267人	6,307人	805人	1,155人	123回	26.8人
27年度	311日	7,532人	5,694人	666人	1,172人	131回	24.2人
昨年比	2日増	735人減	613人減	139人減	17人増	8回増	2.6人減

### (3) 北条デイサービスセンターの年間利用状況（定員一般型40人）

27年度総延利用者数が、26年度より979人の減少となった。要因は新規利用者数の激減に加え、入院、入所、死亡等の理由で終了した利用者が上回ったことが挙げられる。さらに、27年度は、介護老人保健施設入所が約10件、小規模多機能型居宅介護施設入所が10件、また、入院からそのまま施設入所するケースも増加し、デイサービスが、入所までのつなぎの役割を担う傾向がみられ、家族構成の変化も加わり在宅サービスの利用期間が短くなったことも要因の一つと考えられる。

その中で、介護予防に着目した「お達者教室」の利用者を積極的に受け入れ、地域のニーズとできる限り多様な利用ニーズに添った切れ目のないサービス提供と利用者数の実績回復に努めた。

年度	営業日数	総延利用者数	一般型		キャンセル数	平均利用者 (人/日)
			一般型 (要介護1～要介護5)	介護予防型 (要支援1～要支援2)		
			延利用者	延利用者		
26年度	309日	8,992人	7,145人	1,847人	182回	29.1人
27年度	311日	8,013人	6,375人	1,638人	130回	25.7人
昨年比	2日増	979人減	770人減	209人減	52回減	3.4人減

### (4) 介護研修受け入れ事業

市内小・中学生の体験学習、専門学校、大学及び介護職員初任者研修の施設実習の受け入れ。

実習受入	赤坂山デｲﾌﾞｼﾞｻﾞｰｽ	松波デｲﾌﾞｼﾞｻﾞｰｽ	北条デｲﾌﾞｼﾞｻﾞｰｽ
市内小・中学生の職場体験学習	13人	49人	20人
介護職員初任者研修 施設実習	1人	0人	0人
専門学校・大学生の施設実習	40人	3人	5人
その他	1人	0人	0人
合計	55人	52人	25人

27年度は、3デイサービスで述べ132人を受け入れた。26年度が204人に対して約70人減少したが、市内小中学校の職場体験学習受け入れ数の減少が大きな原因となった。

(5) 介護保険外サービスの実施

( )内は26年度実績

① 理美容サービス

ア 赤坂山デイサービスセンター	利用延人数 191人 (183人)
イ 松波デイサービスセンター	利用延人数 157人 (198人)
ウ 北条デイサービスセンター	利用延人数 100人 (133人)

② 時間延長サービス

ア 赤坂山デイサービスセンター	利用延人数 5人 (39人)
イ 松波デイサービスセンター	利用延人数 2人 (1人)

③ お達者教室(北条デイサービスセンター)	利用延人数 621人 (657人)
-----------------------	-------------------

2 生活介護事業

(1) 赤坂山デイサービスセンター障がい者デイサービス

( )内は26年度実績

25年10月から開始した事業で、昨年度途中から2名の登録となったが、1名の体調不良による入院で昨年度末から引き続き登録者数は1人であった。今後、高齢者施設で障がい者を受け入れる柔軟なサービス内容等の検討が、課題として挙げられる。

① 登録数	1人 (2人)
② 利用延人数	24人 (50人)